

お得な予約プランが満載!!
アルパネット
厳選コース

鹿沼
カントリー倶楽部

AIがメンテナンスするフェアウェイ これからの常識かも!?

STEP 1



「パロネスULM271」は、全地球航法衛星システム(GPSやGLONASSなど)を利用した無人芝刈り機。さらに、ティーチ・MAP方式(熟練したコース管理スタッフの刈り込みデータを一度記憶させると、ティーチした作業データを無人状態で高精度に再現する)も採用。数種類のデータを記憶させれば、コースコンディションに合わせた芝刈りが可能だ。価格も1台(基地局込み)2,000万円以上とスケールが大きい

STEP 2



無人芝刈り機による
高精度の芝刈りを実施

フェアウェイを疾走!

フェアウェイを無人機に任せられるので、以前よりグリーンに注力できるようになりました!

無人芝刈り機を運用する

鹿沼カントリー倶楽部
コース管理サブキーパー
清水 翔さん



目指すのはデジタルとホスピタリティの融合

巷でチャットGPTや生成AI、DXなどが話題の今日この頃。実はゴルフ場にも、そんなAI化の波が起き始めている。コースのメンテナンスからチェックインまでデジタルの力で業務を効率化し、サービスの質の向上を目指すのは自然な流れだ。なかでもフェアウェイ管理の負担を劇的に減らし、コース全体のレベルアップにもつながる先進的な機器が無人芝刈り機。今年、共栄社の「パロネスULM271」という無人芝刈り機を導入した、鹿沼カントリー

倶楽部の清水翔コース管理サブキーパーも効果を実感している。「45ホールあるため、以前は人員と時間的な面でフェアウェイの芝を刈れない箇所が出ていました。しかし、2台の無人機に任せると、この問題が大幅に改善されています。また、僕らも時間に余裕が生まれてグリーンのコンディション作りに注力できています」機械に任せる箇所と人の技術を生かす部分……この理想的な関係を目指し、鹿沼カントリー倶楽部は今後もデジタル化を推進する。「お客様のご要望を伺いながら、新たなシステムを採用していきたくて考えています。私たちが目指すのはデジタルとホスピタリティの融合です」と米谷彰子総支配人。今後のゴルフ場運営の鍵は、こ

目からウロコなゴルフ場ネタを毎号ピックアップ。今回はコース管理を中心に進むゴルフ場のAI化の現状とその背景について迫ってみた。

ゴルファーにとっての無人芝刈り機のメリット

POINT

2

芝の長さが一定なので感覚が狂いにくい

芝の刈高の誤差が非常に少ないのも特徴。プレーするホールが変わっても、足やクラブのソールから伝わる感触に違いが出にくい

POINT

1

素晴らしい状態のフェアウェイから打てる

芝の刈り残り箇所などが発生しにくいため、いつゴルフ場を訪れてもコンディションの良いフェアウェイから気持ち良くスイングできる



STEP 3

昭和レトロな雰囲気な社交場!

5月オープンの
『ろくまるテラス』で日光珈琲や
オリジナルメニューを満喫



プレー前後のひとときを過ごすのにピッタリなのが、鹿沼カントリー倶楽部の『ろくまるテラス』。眼下に広がる美しいコースの景観を楽しみながら、おいしいコーヒーやオリジナルのフードメニューを味わえる。夏季には天然かき氷なども用意。営業時間は朝7時～9時、午後15時～レストラン終了時まで。

〒 栃木県鹿沼市藤江町1545-2

☎ 0289-75-2131

¥ 8月セルフ、平日6,900円～(食事付・税込)

微妙に曲がっている
コーナーもこの美しい
仕上がり!



無人芝刈り機が

コース管理における無人芝刈り機のメリット

POINT

5

コース管理の
中・長期的な計画が
立てやすい

作業にムラが少なく進行の遅れなども発生しにくいいため、中・長期的なスパンでコースを常にベストな状態に仕上げやすい

POINT

3

妥協せずに
コースを
仕上げられる

芝を刈りたくても「作業量的に断念していたケース」が激減。さらに、人に時間的な余裕が生まれた結果、グリーンコンディションも以前より良い状態に

POINT

4

業務効率が上がり
人手不足の問題も解消

メンテのスタッフが少ない状況下でも、フェアウェイを良いコンディションに保てる。ホール数が多い場合や人手不足が悩みのゴルフ場などにもピッタリ



このコースの
予約は
こちらから!



ALBA Net

<https://book.alba.co.jp/sp/club/>

コース管理以外にも
さまざまな業務へ
新しいシステムを導入して
いきたいと考えています



ゴルフ場のAI化
に取り組む

鹿沼
カントリー倶楽部
米谷 彰子
総支配人

鹿沼カントリー倶楽部が検討している今後のDX

完全自動チェックインシステム

チェックインを自動で行えれば、受付業務の負担軽減につながる。理想的なのはデジタルとホスピタリティのバランスの取れた融合

レストランの セルフオーダーシステム

ユーザーが、卓上のタッチパネル端末で注文できるシステムも検討中。今後はゴルフ場のレストランでも一般的になる可能性大

ラフやバンカーなどが 仕上げられる無人機



将来的にはラフやバンカーなども無人機で仕上げられる環境を目指す。現在、機器メーカーとさまざまな展開を検討中